

平成31年度(令和元年度) 全国学力・学習状況調査における

北九州市立 若園 小学校の結果分析と今後の取組について

文部科学省による「全国学力・学習状況調査」について、平成31年4月18日(木)に、6年生を対象として、「教科(国語, 算数)に関する調査」と「児童質問紙調査」を実施いたしました。

この度、本年度の調査結果を分析し、今後の取組についてまとめましたので、お知らせいたします。

学校の現状を知っていただくとともに、ご家庭での取組の参考にさせていただきたいと思っております。

なお、本調査により測定できるのは、学力の特定の一部分であり、学校における教育活動の一側面に過ぎません。本校では、他の教科等も含め、総合的に学力向上を目指しています。

1. 調査の目的

- (1) 義務教育の機会均等とその水準の維持向上の観点から、全国的な児童生徒の学力や学習状況を把握・分析し、教育施策の成果と課題を検証し、その改善を図る。
- (2) 学校における児童生徒への教育指導の充実や学習状況の改善等に役立てる。
- (3) そのような取組を通じて、教育に関する継続的な検証改善サイクルを確立する。

2. 調査内容

- (1) 教科に関する調査(国語, 算数)

主として「知識」に関する問題	主として「活用」に関する問題
・身に付けておかなければ後の学年等の学習内容に影響を及ぼす内容	・知識・技能等を実生活の様々な場面に活用する力
・実生活において不可欠であり、常に活用できるようになっていることが望ましい知識・技能	・様々な課題解決のための構想を立て実践し、評価・改善する力

※全ての実施教科で、主として「知識」に関する問題と主として「活用」に関する問題を一体的に問うようにしています。

- (2) 児童質問紙調査

児童質問紙調査
○学習意欲、学習方法、学習環境、生活の諸側面等に関する調査

3. 教科に関する調査結果の概要

(1) 全国・本市の学力調査(国語, 算数)の結果

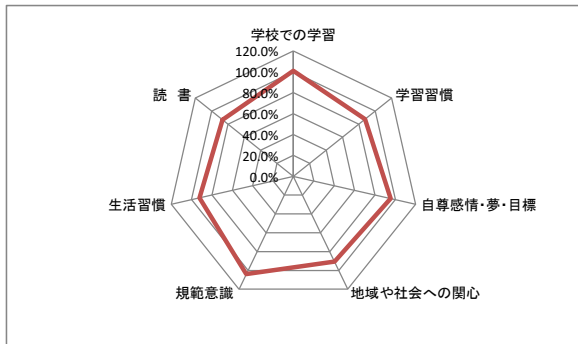
本年度の結果	国語		算数	
	平均正答数	平均正答率	平均正答数	平均正答率
本市	9.1	65	9.0	64
全国	8.9	64	9.3	67

(2) 本校の学力調査結果の分析

国語	全体的な傾向や特徴など	○「読むこと」「話すこと・聞くこと」の領域で、選択式の問題の正答率が下回っている。	全国平均正答率との比較 下回っている
	よくできた問題	○ことわざの意味を理解して、自分の表現に用いる。 ○文と文との意味のつながりを考えながら、接続語を使って内容を分けて書く。	
	努力が必要な問題	○目的に応じて、文章の内容を的確に押さえ、自分の考えを明確にしながら読む。 ○情報を相手に分かりやすく伝えるために記述の仕方の工夫を捉える。	

算数	全体的な傾向や特徴など	○「量と測定」の領域で、記述式の問題の正答率が下回っている。	全国平均正答率との比較 下回っている
	よくできた問題	○示されていた除法の式の意味を理解している問題。	
	努力が必要な問題	○資料の特徴や傾向を関連付けて、一人当たりの水の使用量の増減を判断し、その理由を記述する。 ○場面の状況から、単位量当たりの大きさを基に、求め方と答えを記述し、その結果から判断する。	

4. 学校での学習活動、家庭での生活習慣等に関する質問紙調査結果の概要



質問紙調査の結果分析	
○規範意識、自尊感情・夢・目標については、「名札忘れゼロ運動」「はし忘れゼロ運動」等、月ごとに目標を設定し、全校全職員で取り組み、成果があった。	
○学校での学習では、日頃から授業で、学習の見通しをもたせることや話し合い活動を適時取り入れ授業改善に取り組み、成果があった。	
○読書活動や学習習慣については、課題があった。	

5. 調査結果から明らかになった、課題解決のための重点的な取組

① 教科に関する取組(全校で・学年で・学級で)

○国語科と算数科の学力診断テストやアシストシートを中心とし、子どもの実態に即した問題集を独自に作成し、自習や自学に取り組み、学力の定着を図る。 ○本校主題研究では、教科を特定せずに、学習の見通しをもたせる工夫、話し合い活動を取り入れた授業研究を行い、学力向上、授業改善に努める。 ○全校読書集会や高学年から低学年への読み聞かせ、毎週木曜日に読書ボランティアによる本の読み聞かせを実施するなどして、本の面白さや楽しさを共有させ、読書活動の向上に努める。

② 家庭生活習慣等に関する取組

○宿題や自学習ノートを奨励したり、学校通信や学年通信などで地域や家庭に家庭学習の大切さを発信したりして、保護者に啓発をする。 ○「早寝、早起き、朝ごはん」の奨励とスマホの使い方について、学習参観時に授業を設けたり、講師を招いてSNSの怖さについて学習する場を設けたりするなどして、家庭のルール作りを児童とともに保護者にも啓発に努める。
--